

立教大学コミュニティ福祉研究所学術研究推進資金
企画研究プロジェクトⅠ(教員自由企画型) 2015年度研究成果報告書

研究代表者	所属・職名	氏名
	コミュニティ福祉学部 教授	小長井賀與
研究課題名	ベトナムにおけるインターンシップの可能性を探る -NGO の現地活動への参与観察	
研究期間	2015 年度	
研究経費	100 千円	

【研究の概要】

ベトナムにおいて、学生の国際的な視野の体得と海外で働く日本の組織・人に対する理解の促進を目的として、正課のインターンシッププログラムが展開できるかどうかを探るために、試行的に下記のプログラムを体験し、その可能性を探った。

日程：2015年9月14日から9月20日まで

体験プログラム：

- ① 日本の認定 NPO 法人「ブリッジ・エーショア・ジャパン (BAJ)」ベトナム事情所 (フエ所在) による地域開発支援プロジェクトの参与観察
 - 1) フエ市の養豚農家を対象に家畜糞尿を活用したメタンガス発酵槽の設置事業
 - 2) 農家の収入向上のための農産物直売所の運営事業
- ② 独立行政法人「国際協力機構 (JICA)」在外事業所 (ハノイ所在) での学習と視察
 - 1) ベトナムにおけるプロジェクト全体の概要
 - 2) ニンビンにおける世界遺産を活用した都市再生支援プロジェクト
- ③ ハノイの文化建造物を巡るに英語による観光ツアーへの参加

上記の試行と受入先組織との協議の結果、2016年度から当学部生4名を定員として、ベトナムにおいてインターンシッププログラムを実施できるという結論に至った。なお、定員4人は、BAJの受け入れ態勢に依る。このプログラム案は学部インターンシップ委員会、運営調整委員会および教授会に提案し、承認された。

- ① JICAベトナム事務所でのプロジェクト概要の学習と若手職員とのキャリア形成に関する意見交換
- ② NPO法人「ブリッジ・エーショア・ジャパン」ベトナム事情所による地域開発支援プロジェクトでの実習 - 養豚農家でのバイオガスダイジェスター普及プロジェクトと農産物直売所での販売促進企画
- ③ ハノイとフエでの英語の観光ツアー参加による文化遺産学習と外国人観光客との交流

